

インフラDX特別賞 エントリーシートの作成について

作成上の注意

- ◆ 以下の例を参考に、Microsoft Power Pointなどを利用して作成してください。
- ◆ 画面サイズは横長で、16：9（またはA4横）の表示で見やすいようにしてください。
- ◆ デザイン（ページの使い方）は自由ですが、ファイルの容量は10MB以下になるようにしてください。
- ◆ ファイル形式はPDFとしてください。

取組のタイトル（50字以内）

取組を行った工事名又は業務名

事業者名

発注機関名

インフラDXについて取り組んだ内容の概要を記載してください。

（200～400字、テキストのみ）

【記入例】

- ・伝統産業企業が取り組んだインフラDX
- ・デジタル技術が全く導入されていなかった業務で、ゼロからインフラDXに挑戦
- ・「職人の勘」だけに頼っていた技術を誰もが作業できる技術にすることを目標にデジタル技術を投入
- ・経営者自ら音頭を取り、ベテランの職人を説得。「職人の勘」を一つずつ分析し、デジタル技術に置き換えた。
- ・また、併せて業務管理システムや予算管理システムを導入し、それぞれのシステムをリンクさせることで、全ての社員が情報共有し、大幅な工期短縮（●●日短縮）、時間外労働時間の短縮（●●時間短縮）を達成した。

応募するインフラDXの取組について、具体的な取組内容を記載してください。

(テキスト、図、画像利用可。2スライド以内。)

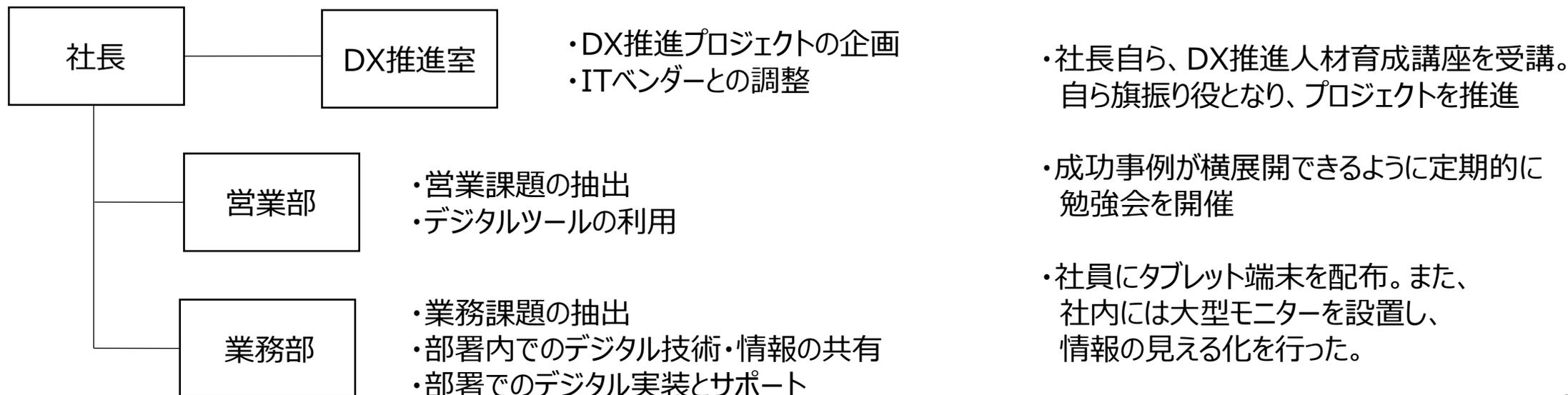
実施体制はインフラDXの取組を実施するための体制や主要メンバーなどを記載してください。

他団体や企業との協業なども含みます。

また、インフラDXの推進に当たっての人材採用や人材育成の工夫、組織の能力を発揮するための工夫などがあれば記載してください。

【記入例】

- ・取組の背景やビジョン
- ・取組の具体的内容
- ・取組の実施体制 等



インフラDXの取組の成果について、次の内容を中心に具体的に記載してください。

1 取組の成果と組織への影響

インフラDXの取組が生産性向上や業務効率化、新製品・新サービスの開発などの成果を上げている点、働き方改革など組織全体にポジティブな影響を与えている点について記載してください。

※成果については、その効果を取組前と取組後で可能な限り数値により比較できるものを示してください。

数値については、例えば、労働生産性、利益率、工期短縮、時間外労働時間短縮など、効果が表れた指標であればどのようなものでも結構です。

2 技術的な革新

新たなテクノロジーやデジタルツールを導入し、業界内での先駆的な取組であれば、それについて記載してください。

3 事業モデルの革新

既存のビジネスモデルを転換し、建設生産プロセスの高度化・省人化、新たな収益源や価値提供方法を開拓していれば、それについて記載してください。

(テキスト、図、画像利用可。1スライド以内)

【取組の成果と組織への影響の例】

- ・デジタル技術を活用して、〇〇を行った。
- ・利益率が向上し、臨時ボーナスを支給した。
- ・労働生産性の向上状況

※労働生産性を算出している場合は計算式を記入してください。

- ・時間外労働時間を削減し、効率化分を給与に還元するとともに、休暇取得を促進した。

【技術的な革新の例】

- ・業界初の〇〇の導入
- ・汎用デジタルツールに新たな視点・仕組みを導入

【事業モデルの革新の例】

- ・デジタル化による新たな市場の開拓と受注の確保
- ・インフラDXの取組成果を生かした新たな県民サービスの提供

インフラDXの取組の波及効果について、次の内容を中心に記載してください。

1 業界や市場への影響

業界や市場全体に影響を与え、他の事業者や顧客に対しても波及する可能性が高い取組であれば、それについて記載してください。

2 持続可能性

取組が持続可能であり、当該取組の今後の発展や拡大していくことが期待できる取組であれば、それについて記載してください。

また、今後、挑戦したいことや変革していきたいことなどがあれば記載してください。

(テキスト、図、画像利用可。1スライド以内)

【業界や市場への影響の例】

- ・同業者の人手不足の解消の可能性
- ・同業者の働き方改革推進の可能性

【持続可能性の例】

- ・取組の今後の拡大可能性
- ・生産工程の削減数、業務効率化の今後の可能性
- ・保有資機材の効率化の今後の可能性
- ・時間外労働時間の短縮、年次有給休暇の取得日数の増加の可能性
- ・採用人数拡大の可能性

インフラDXの取組の社会的意義について、次の内容を中心に記載してください。

1 社会的課題への貢献

社会的課題や持続可能な開発目標などに対して積極的に貢献している取組であれば、それについて記載してください。

2 ステークホルダーとの協力関係

発注者、従業員、パートナー、地域社会などのステークホルダーとの協力関係を築き、また、こうした方々の利益に配慮している取組であれば、それについて記載してください。

(テキスト、図、画像利用可。1スライド以内)

【社会的課題への貢献の例】

- ・SDGsとの関連性
- ・カーボンニュートラルとの関連性

【ステークホルダーとの協力関係の例】

- ・BCPの観点でのパートナー企業との協力関係
- ・従業員の社会貢献活動への協力
- ・地域社会における協力

その他、工夫したこと、**他社には負けないことや独自性など**、アピールポイントがあれば自由に記載してください（任意）。
（テキスト、図、画像利用可。1スライド）